

| | | | | | |
|---|---|-----|-----|------|-----|
| 科目名 | デザイン実習2 [プロダクト] (卒業必修) | | | | |
| 授業形態 | 実習 | 学年 | 2 | | |
| 開講時期 | 2021年度 前期 | 単位数 | 2 | | |
| 担当教員 | 富永 周平 | | | | |
| 内容および計画 | <p>国土の7割が森林が占めているように、日本は森林大国です。SDGSなどの環境問題が重要視されていく現在、木という持続可能な自然資源をどのように活用していき、どのようにデザインを運用して、この素材を使いこなすかを話し合いながらそれぞれ木製品のデザインアプローチを学びます。</p> <p>本実習においては、木製品のデザインのみでなく、木のこと・木材の加工から木製品が製造されるまでのプロセスを調査・見学(学習)して実際に木がどのような現場でどのように活用されて、どういった問題があるかを学んだ上で、課題である「木の玩具・遊具デザイン」を行っていきます。</p> <p>今回は産学連携実習として本宮市にある「株式会社光大産業様」との商品開発を目指しています。福島県内で屈指の木工場の協力を得ながら、木材・木工のことを学び、ターゲットである幼稚園・保育園の遊具のデザインを調査・研究しながら実習を行なっていきます。</p> <p>成果物はプレゼンテーションを光大産業様に行なった上で実際に商品化の可能なものにおいては、実習終了後に工場にて生産いただき、製造の可能性とコストのフィードバックを致します。(製造したものは保育現場にて使用設置も検討しています。)</p> | | | | |
| 1 | ①実習内容の説明 ②玩具・遊具のデザインについて ③世界の玩具デザインの調査。 | | | | |
| 2 | ①幼児の成長によって変わっていく身体の使い方とそれに合わせた子どもの遊び ②様々な遊具のデザインの解体 ③各自の実習テーマの検討 | | | | |
| 3 | ①木について②工場の見学・ブランドメーカーの見学(※コロナの状態によっては変更あり)③実習チーム分け(2チームに分けます) | | | | |
| 4 | デザインアプローチは開発デザインをする商品のセレクト・デザインリサーチ・コンセプト構築(ヒアリング+ディスカッション+指導) | | | | |
| 5 | デザインアプローチは開発デザインをする商品のセレクト・デザインリサーチ・コンセプト構築(ヒアリング+ディスカッション+指導) | | | | |
| 6 | デザインアプローチは開発デザインをする商品のセレクト・デザインリサーチ・コンセプト構築(ヒアリング+ディスカッション+指導) | | | | |
| 7 | デザインワーク(スケッチ・CAD・図面) | | | | |
| 8 | デザインワーク(スケッチ・CAD・図面) | | | | |
| 9 | デザインワーク(スケッチ・CAD・図面)・商品名・ロゴデザイン・1次プレゼンテーション | | | | |
| 10 | モックアップ(3Dプリンター・木工・レーザーなど)・木工加工などの調査と指導 | | | | |
| 11 | モックアップ(3Dプリンター・木工・レーザーなど) | | | | |
| 12 | モックアップ(3Dプリンター・木工・レーザーなど) | | | | |
| 13 | モックアップ(3Dプリンター・木工・レーザーなど) | | | | |
| 14 | モックアップ(3Dプリンター・木工・レーザーなど) | | | | |
| 15 | 完成品のプレゼンテーション(批評会) | | | | |
| 教科書 | | | | | |
| | タイトル | 著者名 | 出版社 | ISBN | 発行年 |
| | 工場やメーカーの見学にてものづくりを実際見て学びます。(見学においてはコロナの影響でなくなる可能性もあります) | | | | |
| | 必要に応じ?て印刷資料や玩具サンプルを使います。 | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 今回は産学連携実習として本宮市にある「株式会社光大産業様」との商品開発になります。こちら原材料の木材(主にヒノキ材)の乾燥・加工から、そして製品の制作まで行なっています。実際に木材の加工の流れ・製造の流れ・商品の流通を幅広く学 | | | | | |

んだ上でデザイン課題に取り組んでいただきます。課題は幼稚園・保育園にて使用する玩具や遊具のデザインを保育シーンと幼児の成育から見た観点からデザインすべき商材と一緒に教授・講師・専門家と話し合いながらセレクトして、人と物と空間の関係を考えたデザインワークをしてもらいます。(幼児教育学科の先生の意見も聞くことも検討しています)

| | |
|--|---|
| 参考書 | |
| 成績評価 | |
| 評価方法 | 割合(%) |
| デザインプロセス：リサーチ力・ディスカッション能力・デザインアイデア・多くのスケッチ・CAD・図面 | 25 |
| 作品レヘル (①モックアップの完成度・②木工加工への姿勢) | 25 |
| 資料作りとプレゼンテーション能力：①商品アイデア・ロゴデザイン・コンセプト②製品の説明・商品アピール | 25 |
| 出席率・授業態度・チームワーク・質問頻度 | 25 |
| <p>プロセスに得意不得意があると思いますが、実習に取り組む姿勢や努力を見ていきます。基本的には他の授業でも学んでいるスケッチ・図面・CADなどを活用したトータル実習になります。課題の実践だけでなく、講師・助手・同じ実習生との意見交換・コミュニケーション力・プレゼンテーション力も重視したいと思います。またチームでの実習になりますのでチームワークのある、連携のできた良い取組も重視いたします。</p> | |
| 学習到達目標 | <p>デザイン開発の段階で出てくる多くの課題や問題をチームで解決しながら、製品のコンセプトを構築していきます。自分の考えを仲間や講師とディスカッションして、お互いの意見を交換・吸収しながらアイデアをより正確な方向性にフォーカスします。その上で多くのスケッチをして、それをもとに製品のイメージやサイズ感を決定していきます。製作図面で描き、モックアップ試作を木工にて製作していきます。最終プレゼンテーションにてアイデアの完成品・コンセプト・構想価格を発表してもらいます。本実習で各プロセスを大事にして完成品をイメージしながら自己やチームのスケジュールを管理していくことが大切になります。</p> |
| 先修条件 | |
| 実務経験 | |
| その他 | <p>玩具の調査・工場の見学・ブランドメーカーの見学・幼児教育学科 への意見交換を含めて課外での授業も想定しています。ただしコロナの関係で自粛などがある場合は別の安全な手法を組む予定でいます。</p> |